

2022 年度 年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2023年5月 日
- 事業名 : 堺市における居場所の包括連携によるモデル地域づくり
- 資金分配団体 : 認定 NPO 法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ
- 実行団体 : 社会福祉法人 堺市社会福祉協議会

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成 時期	現在の指標の達成状況	進捗 状況 *
アウトプット1 新たな居場所が増加する。 居場所への参加者が増加する。	・さかい子ども食堂ネットワークに加盟する西区の子ども食堂数・参加者数 ・西区の小校区数、堺市立小中学校に在籍する児童・生徒数	10か所(新たな居場所) 2600人(年間参加者数)	令和6年 3月	西区における子ども食堂の数は令和5年3月末で17団体となっており、事業開始時(令和3年8月1日時点:13団体)から4団体増加している。 令和4年度の子ども食堂への参加者数は、西区の子ども食堂全体で延べ9709人だった。(各団体の実績報告より) コロナ禍で止まっていた活動が再開した影響もあり、昨年度から大幅に増加している。 (令和3年度の参加者数は1300人)	2

<p>アウトプット2 文化芸術、スポーツ等様々なコンテンツが居場所 所で実施される。 新たな活動者が増加する。</p>	<p>社協が関与して、さかい子ども食堂ネットワークに加盟する西区の子ども食堂に提供・紹介したコンテンツ数</p>	<p>コンテンツ数（年間） 6 コンテンツ開催（年間） 10か所 活動参加者数（年間） 180人</p>	<p>令和6年 3月</p>	<p>令和4年度は西区の子ども食堂4団体が6つのコンテンツに参加した。（オリックス野球観戦、セレッソ大阪サッカー観戦、講談社お話し隊読み聞かせ、東京バレエ団「くるみ割り人形」観劇、コンテンポラリーダンス公演「子ら子ら」観劇、文化振興財団ワークショップ） 全コンテンツで合わせて約100人が参加した。</p>	<p>2</p>
<p>アウトプット3 地域貢献する応援企業や寄付が増加する。応援を受ける居場所が増加する。</p>	<p>社協が関与して、さかい子ども食堂ネットワーク加盟団体が受けた企業からの応援・個人からの寄付件数（年間助け合い、フードドライブ、企業からの助成金等）</p>	<p>応援企業数（年間） 90件 個人寄付件数（年間） 90件</p>	<p>令和6年 3月</p>	<p>令和4年度のさかい子ども食堂ネットワークへの応援・寄付数は企業71件、個人66件で、令和3年度の約2倍に増加した。 継続した応援・寄附に加え、新たな企業や団体からの応援・寄附も多数あった。</p>	<p>2</p>
<p>アウトプット4 モデル区において、官一民によるイエローシグナル相談支援ネットワークが形成される。 居場所の活動者からの発見による相談支援が増加</p>	<p>・西区におけるさかい子ども食堂ネットワークへの加盟団体数と参加者数 ・西区の小学校区数、堺市立小中学校に在籍する児童・生徒数 ・西区の日常生活圏域コーディネーターが対応した子どもが関係する相</p>	<p>参加者数（年間） 2600人 子どもに関係する相談件数（年間） 10件 子ども食堂から</p>	<p>令和6年 3月</p>	<p>専門職と居場所活動者の顔の見える関係を構築するため、まずは、専門職への研修を10月に実施した。研修参加者への2か月後アンケートより、研修後に他機関や団体と協働した事例が32件報告されている。 令和4年度の西区における日常生活圏</p>	<p>2</p>

<p>する。 新たに発見した、支援が必要なケースが増加する。</p>	<p>談件数 ・西区のさかい子ども食堂ネットワーク加盟団体から日常生活圏域コーディネーターにつながった相談件数 ※子どもは18歳未満とする</p>	<p>の相談件数（年間） 20件</p>		<p>域コーディネーターの対応件数は、全数が62件で子どもに関係する相談が10件、子ども食堂からの相談が1件となっている。</p>	
<p>アウトプット5 モデル区において、専門職が居場所につないだ人が増加する。 新たに発見した、支援が必要なケースが増加する。</p>	<p>・西区における子ども食堂への参加者数 ・西区ソーシャルワーク研修企画者の所属機関・法人・事業所の数 ・西区ソーシャルワーク研修の参加者が研修後に子ども食堂へつないだ対応件数 ※「つないだ」…支援の中の一つとして子ども食堂とのつなぎを行った。 ・西区の日常生活圏域コーディネーターが対応した子どもが関係する相談件数 ・日常生活圏域コーディネーターから西区のさかい子ども食堂ネットワーク加盟団体につないだ件数 ※子どもは18歳未満とする</p>	<p>参加者数（年間） 2600人 子どもに関係する相談件数 10件 子ども食堂へつないだ件数 20件</p>	<p>令和6年 3月</p>	<p>専門職と居場所活動者の顔の見える関係を構築するため、まずは、専門職への研修を10月に実施した。 研修参加者への2か月後アンケートより、研修後から、研修後に子ども食堂と協働した事例が2件報告されている。 令和4年度の西区における日常生活圏域コーディネーターの対応件数は全数が62件で、子どもに関係する相談が10件、子ども食堂へつないだ支援が4件となっている。 令和5年度に専門職と居場所活動者の顔の見える関係構築に向けた交流会を実施する予定で、子ども食堂との協働事例の増加が見込まれる。</p>	<p>2</p>

*進捗状況：1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3.(任意) 活動に関する報告
①事業の2本柱である「イエローシグナル相談支援機能」と「居場所の包括連携づくり」に関する研究検討会を各3回実施した。 ②「西区で協働をすすめるためのソーシャルワーク研修」を実施し、モデル区における専門職の顔の見える関係が広がり、実際の支援場面での協働実践につながっている。 ③ヒアリング調査では、昨年度に引き続き「地域活動者」「専門職」「子ども食堂実践者」それぞれに対話の場面をつくることができた。ヒアリング結果は大阪公立大学東根研究室と協働して分析し、参加者へのフィードバックも行った。 ④子ども食堂がない校区の地域活動者と協働し、子どもの居場所づくりに向けての実行委員会が発足した。地域活動者の主体性を高めながら、定期的な子どもの居場所の開催に向けてすすめている。 ⑤子ども食堂が複数ある校区の子ども食堂実践者で行った意見交換から、地域と子ども食堂が協働で行うイベントが企画され、イベント実施に向けた取組をすすめている。

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
<input type="checkbox"/> 自団体のウェブサイトに表示している <input type="checkbox"/> 広報制作物に表示している <input type="checkbox"/> 報告書に表示している <input checked="" type="checkbox"/> イベント実施時に表示している <input checked="" type="checkbox"/> その他 →「その他」を選択した場合は記載してください(自由記述)：購入物品へシールを貼付
2. 広報
1.メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等) なし

2.広報制作物等

なし

3.報告書等

なし

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

全国こども食堂支援センター・むすびえと協働し【社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研修会】の実施（令和4年6月28日）

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）



西区で協働をすすめるためのソーシャルワーク研修の様子



第3回居場所の包括連携づくりに関する研究検討会の様子



(モデル校区)「子どもひろば」実行委員会の様子



(モデル校区) 子ども食堂実践者の意見交換

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input type="checkbox"/> 未公開 → 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input checked="" type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： 社会福祉法人に適用される法令・指針を遵守していることにより、適切なコンプライアンス体制は整備されていると、契約時に資金分配団体により判断されております。そのため、休眠預金事業を行うに伴い、コンプライアンスに関する規定の新設、及び、コンプライアンス委員会の新規組成は行っておりません。また、「①法令・指針を遵守すること、②法令・指針と同等の体制を契約時点で整備し、今後も維持し続けること、③休眠預金事業を遂行するにあたり必要だと判断する場合に、規程を新設すること」について誓約した「一部規程類の取扱いについて」を資金分配団体との間で締結しております。
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：